

未来

郵政産業ユニオン
PIWU

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4156
21年6月8日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

郵便を守るキャリーボックスの故障は放置してよいのか？

おはようございます。

先月から、朝の全体での唱和や対面配達時ロープレが休止されている。これによって大区分など作業に取り掛かるのが早くなり、早めに出発できるようにになった。

その効果が表れているのか、今年度初めに続いていた大きなミスはほとんど聞かなくなってきた。実際の短縮時間は10分前後だが、朝の10分は貴重で社員のモチベーションアップに繋がっているのは間違いない。

長崎市の新型コロナウイルス感染者は減少傾向で、県独自の緊急事態宣言は7日で解除されたが、唱和や対面配達時のロープレの休止は引き続き継続してもらいたい。

外務社員の仕事は天候に左右される事が大きい

が、雨天時の配達が一番緊張感する。郵便を濡らさないように配達するのはもちろんだが各種の事故にも気をつけなければならぬ。

バイクでの追突事故やスリップ・転倒事故だけではなく、歩行中に足を滑らせるなど常に労働災害(以下労災)に繋がる危険の中で配達している。

今年梅雨入りが早く雨天時の配達が多くなるので労災にならないように心掛けて行きたい。



指を挟む労災と言え、郵便部などではパレットに挟むなどの報告がある。集配では、配達用バイクのキャリーボックスで指を挟む事象もよく耳にする。

これはキャリーボックスのストッパーが甘くなり蓋が下がりやすくなるため起こる。セクタースタンドの時には蓋は下がり来ないがサイドスタ

ンドを使用時には、勝手に蓋が下がってくる事でこの様な事象が発生する。



配達時に郵便を取り出すときに指や腕を挟んだり場合によっては頭に蓋が当たったりもする。

先日、配達に支障をきたすと言う事で、このような事象のキャリーボックスの交換を局に申請した。

すると局から「支社からは、昨年の水害被災局で大量に消費したため現時点で配置換え交付できるものがない状況である。今年度の調達については本社で準備中であり、具体的な配備数量については確認できないが配備計画が判明次第、連絡したい。」

また、補修対応事例等の情報については、「支社は特に情報は把握していない。修理対応を取るしかないのではそのような事

象のキャリーボックス個数について修理見積もりにより上申してもらおうことになる。ただ、当該予算は少ない状況ですべてについて措置が不可能の場合がある」との回答があったと言われた。

この様な事象のキャリーボックスは交換や修理を申請していないだけで長中には数台ある。

今回申請した社員は、普段はこのバイクに乗る機会がなかったためこの様な事象を知らず、何度も腕などにキャリーボックスの蓋が当たったと言っていた。



たまらず申請した結果がこの回答だ。支社からしてみれば、この様な事象で労災になった事例もないし、修理依頼もきていないとのことだろうが支社の今回の回答は、労災の危険性があるのに放置しているとの見方もできる。

長中局の対応は、支社からの回答が示されただけで修理はいつになるのか？この労災の危険性があるこのバイクに乗車してよいのか？だめなのか？などの指示はなかった。

結局、この申請した社員が稼働していないバイク(修理依頼申請中で支社の修理許可が出ない)のキャリーボックスと交換した。



日常点検や乗車訓練は事故を防ぐ為に毎日、時間をかけて実施しているバイクには大事な命を預けるからだ。キャリーボックスは大事な郵便物を載せている。本来ならばどちらも故障があつてはならないはずだ。

今回の支社の回答及び長中の対応は納得できるものではないので説明を求めていきたい。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員に正社員化を。

ゆめが、均等待遇を。

なげうち差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利した！